



わたしも
ひつこうと

ごみの不法投棄
ひどい！
どこにかいて

川の土手道に空き缶や食品の空き容器などが散乱しています。なかには家から持ってきたような空き缶がたくさん詰まった袋も。父が掃除し、私が分別して町内の資源化物として出しましたが、ごみ袋を出してくれたり、収集に来てくれたりできないものでしょうか。汚いまちに慣れてしまつのは嫌です。(新茅町・女性)



市でも不法投棄に心を痛めています。ごみ袋は町内清掃などに利用していただけるボランティア袋を用意しています。小桁の環境事業所または市役所1階環境生活課にありますが、ご活用ください。収集についてはボランティア袋を町内のごみステーションに出していただければ回収します。

不法投棄は「自分の土地でないから」「私一人くらい大丈夫」「誰も見ていないから」などモラルの低下が大きな要因。一人ひとりが自覚し、分別処理していただけるよう市としても努力していきますので協力をお願いします。

問い合わせ先 環境業務課 22・8255

津山人

「津山魂」が支えるボクサー人生

三谷大和スポーツジム 会長
三谷大和さん（津山市南町出身）



現役時代「県南の辰吉」「県北の太和」と呼ばれ、ボクサーとしていくつものチャンピオンに輝いた三谷大和さん（津山市南町出身）。引退後、平成14年にはボクシングジムを千葉県に開設しました。この3月、練習生10人を引き連れ、合宿のため帰郷されたところ取材しました。

今回の合宿の目的は？

「故郷合宿」と言って、私の生まれ故郷津山を終着地とした合宿です。4回目となる今回は高松市や岡山市を訪れました。津山は私にとって精神的な原点。そのことを練習生に肌で感じてもらうと毎年行っています。

「精神的な原点」とは？

ボクシングは体力だけでなく精神力も大切。試合や練習では、苦しいことが多々あります。私の場合、そんな時に支えになってくれたのが、津山の人々による熱い応援でした。つらい時、そのことを思うとパワーがみなぎってくるんです。それに津山は、チャンピオンを目標に自分が厳しい練習を積んだ場所。その意味でも原点なんです。

少年時代どんな練習を？

父の指導の下、寒い季節でも石山や吉井川沿いを裸足で走ったり、鶴山公園の階段をうさぎ跳びで登ったり。吉井川の河川敷では土の上に正方形を書いてタリンドで練習していました。津山の自然がリングであり、ジムだったんですね。現役時代、トランクスに「津山魂」と書かれていましたが、この意味は？

温かく、義理深い、そして負けず嫌いな津山人の魂が私の中心



わたしのおすすめ

里山の植物に優しい目を向けて



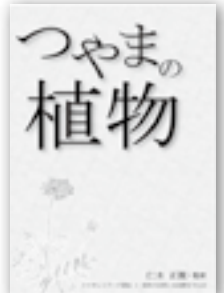
美作の自然と文化財を守る会
会長 仁木 正視さん（総社）

減りつつある里山の植物を中心に紹介した冊子『つやまの植物』を出版、併せて津山市との協働事業でその冊子をもとにポスターも作成しました。これは、5年前から環境団体のエコネットワーク津山と行ってきた植物調査の結果をまとめたものです。毎月のように旧津山市域の里山を歩き、調査した中から354種を掲載しています。調査から編集作業に至るまで、一般市民が自らの力で、ここまで作り上げた活動は全国でもほかに例を見ないと思います。素人だった私に色々と教えてくださった先生方にこの冊子を見てほしいです。

私は、昭和40年代から津山市やその周辺の里山で植物を観てきました。この30数年間で、その多

くが絶滅・激滅しました。山から根こそぎ採取する山野草愛好家(?)や台風の変倒木による環境の変化、森林の管理が行き届かなくなったことなどが主な要因と考えられます。

これからは里山が華やぐ季節。ハイキングに出掛けて普段見ない植物に出会ったら、優しい目で見守ってあげてください。



問い合わせ先 エコネットワーク津山 22-7656
(冊子)、環境生活課 32-2055 (ポスター)



プロ戦績 16戦12勝4敗
平成7年に日本タイトルと東洋太平洋タイトルを獲得

選手育成に何か工夫は？

もともと学校の教師になりたかったこともあって、リングを「教室」にグループを「チーム」代わり指導しています。普通のジムに無い全寮制を取り入れ、合宿を行った結果、強い団結力が生まれていると思います。現在、練習生120人を抱え、その内プロデビュー選手は15人。以前この合宿に参加した選手の一人は、昨年全日本新人王になりました。

には息付いています。トランクスに刺しゅうは、私の原点が津山にあることの現れです。

ジムを開設するきっかけは？

WBA世界チャンピオンに2度挑戦し、いずれもきん差で敗れました。でも「白旗を上げて津山には帰りたくない。今度は世界チャンピオンの育成に力を注ごう」と決意しました。



▲練習生に向けられるまなざしは厳しい（「故郷合宿」江見ジムにて）

指導にあたつてのモットーは？

鶴山中学校時代に出会った先生が教えてくれた「人を信じれば人は変わる」です。厳しい中にも一生懸命頑張る子を信じ、育てていきたいです。

最後にボクサーを目指す津山の子どもたちに一言。

一生懸命やればできる世界です。亀田兄弟のように世界に羽ばたくボクサー目指して頑張ってください。私も津山出身のボクサーを育ててみたいと思っています。

桜には少し早い時期だったため、練習生たちに「普通の桜は下から見ると、鶴山公園の桜は上から見ると」と話す三谷さんの表情から子どもたちを思う温かさ伝わってきました。いつの日か津山魂が世界チャンピオンに導くことを信じています。